



青空たかく

長南町立長南中学校
 生徒数 138人
 発行者 保川浩基
 電話 0475-46-1190

- 〈学校教育目標〉 郷土を愛し、未来を拓く創造的な知性と体力を身につけた心豊かな生徒の育成
- 〈めざす生徒像〉 自ら学び、考え、表現する生徒（創造）
- 長南プランの推進
 「学力と人づくり」
- 目標を持ち最後までやり通す、たくましい生徒（努力）
- 郷土を愛し、思いやりと感謝の心が持てる生徒（郷土愛・思いやり）



§ 凡事徹底 (ぼんじてっつい) §

野山も色づきはじめ、秋の深まりを感じる季節となりました。緊急事態宣言が解除されて、朝から挨拶運動のさわやかな声や部活動で元気に活動する姿に、改めて当たり前ことができるありがたさを感じています。



私は、「凡事徹底」という言葉が好きで、目標であり、日々実践したいと思っています。実用日本語表現辞典によると、「なんでもないような当たり前のことを徹底的に行うこと、または、当たり前のことを極めて他人の追随を許さないことなどを意味する四字熟語」とあります。

イエローハット創業者、鍵山秀三郎氏（現日本を美しくする会相談役）は、強い志で、創業当時カー用品関係の店は汚いのが当たり前の中、自社はもちろん、取引先の店舗やトイレまで掃除を続けました。社内外から、反発やあてつけがましいと思われながらも、清掃は大切であるという信念のもと続けました。そうした中、設立から12年経った頃から社員が自主的に清掃をするようになり、さらに10年経ったとき、ほとんどの社員が朝早くから、会社や近隣の道路を掃除するようになりました。「あの会社は清掃をするよい会社だ」と評判が立ち、社風がよくなり、社員の行動がよくなり、お客様への信頼につながり、「あの会社は社員の態度や言葉遣いが良い。しかも誠実だ」と評価され、会社の基盤が固まりました。忍耐力と「凡事徹底」、平凡なことを一つ一つ大事にする姿勢で、平凡な掃除を大事に徹底的にやり続けました。



2013年夏の甲子園で優勝した前橋育英高校監督荒井直樹氏の座右の銘が「凡事徹底」です。練習では、全力疾走やカバーリングといった基本を、生活面では、あいさつ、時間厳守、グラウンドや部室の整備・掃除などを重視しました。甲子園期間中も、宿舎の周りで日課のゴミ拾いを続けまし

た。「野球に打ち込むことで人間が磨かれ、人間を磨くことで野球も上達する」ということを証明したともいえます。

長南中学校は、あいさつ運動や全校読書、ノーチャイム、黙礼など素晴らしい取り組みが沢山あります。今は、落ち葉の舞う時期。毎朝早くきた生徒会役員や先生方が、一所懸命に掃き集めています。とてもありがたく思っています。

コロナ禍の中、当たり前のことができることに感謝し、あいさつ、清掃、整理整頓、時間厳守など日常の生活を大切にし、様々な場面で力を発揮できる人。私を含め長南中学校の生徒も職員もそうであってほしいと願っています。

◆◆◆ 学力向上のヒント1 ◆◆◆

最終下校が16:30となり、生徒は、家庭で過ごす時間が長くなっています。進路まっしぐらの3年生に対して、1・2年生は、1年後2年後に向かって準備していくことが大切です。以前、長く保持される記憶（確実な知識）にするためには、繰り返しの復習が大切なことを伝えました。記憶については、次の研究も参考になると思います。

アメリカ・パデュー大学のカーピック博士は、ワシントン大学（世界的な名門大学）の学生を集め、初めてスワヒリ語40個を暗記する試験を行いました。4つのグループ（G1～G4）に分けて学習した後、確認テストを行い、完璧に覚えるまで繰り返します。

- G1：40個の単語全て毎回学習し、40個の確認テストを毎回行う。
- G2：覚えていない単語だけ学習し、40個の確認テストを毎回行う。
- G3：40個の単語全て毎回学習し、覚えていない単語のみ確認テストを毎回行う。
- G4：覚えていない単語のみ毎回学習し、覚えていない単語のみ確認テストを毎回行う。

- 問1 全て習得したのは、何回程度繰り返し学習した後だったでしょうか。（全グループとも10回以内）
- 問2 1週間後に再テストを行いました。100点満点中何点くらいだったか考えてください。

（※結果は裏面になります。）

☆☆☆ 生徒会役員選挙・任命式 ☆☆☆

9月30日、生徒会立会演説会及び役員選挙を行いました。緊急事態宣言下のため、立会演説会をリモート開催するとともに、投票をタブレット端末で行いました。初めての試みでしたが、選挙管理委員会と生徒会担当の先生方が中心となり、実現することができました。

選挙では、新役員5名が、次の通り選出されました。

会 長 (2年)
副 会 長 (2年)
(1年)
書記会計 (2年)
(1年)



10月11日には、生徒会役員任命式を行いました。新役員を代表して、生徒会長(2年)が、伝統を受け継ぎ、新しい長南中学校を築いていく決意を力強く述べました。前役員のみなさんに敬意を表するとともに、新役員の活躍に期待しています。

♪♪♪ 長南祭・合唱コンクールに向けて ♪♪♪

学校では、11月12日の長南祭・合唱コンクールに向け、校舎のあちこちで歌声が響いています。学校ならではの秋の風物詩は心地よく、何となく気持ちも高揚します。練習は山あり谷あり、どの学級も試行錯誤しながら自分たちの合唱づくりをしています。



保護者の皆様には、10月28日付文書にてお知らせしましたが、感染者が激減したことにより、ご家族1名に限り、お子様の学年発表のみ参観していただけるように変更しました。また、後日、ご家庭限定のオンライン配信を企画しております。ご家族で合唱を楽しんでいただければ幸いです。急な変更等、申し訳ございませんが、ご理解くださいますようお願いいたします。

◇◇◇ 学力向上のヒント2 ◇◇◇

『長期記憶は「入力」より「出力」の方が大事』

カーピック博士の研究結果です。G4が効率よく覚えられそうですが、すべて習得した回数には差がありませんでした。どのグループも5回の学習と試験を繰り返すと全員が、40個全てを覚えられました。

では、1週間後はというと、G1とG2は約80点と好成绩だったのに対し、G3とG4は約35点しかとれませんでした。G1とG2の共通のプロセスは全ての単語について繰り返し確認テストを行ったことです。このことは、脳に情報を取り入れる学習を繰り返すよりも、脳にある情報を何度も使ってみるの方が、長期記憶につながるということです。

たとえば、教科書を読むことは大事ですが、一通り学習した後は、問題集を何度もやる方が、効率的に長期に渡り、脳が情報を記憶できるということです。同様に、目で読むだけでなく、声に出したり、書いたりすることや、自分が出した答えと正解とを比較(フィードバック)しながら、納得して考えること、さらに、考えたことを伝え、説明することも有効な手段です。覚えたことを、何度も繰り返し使ったり、様々な方法で使ったりすることで確実な知識につながるということです。

学校では、各学年、各教科に応じて、学習指導をしています。確実な学力をつけるためには、繰り返しの学習が不可欠です。ご家庭で、今一度、お子様の学習の取り組み方について話題にさせていただき、よりよい学習の仕方を考え、実行していただけるように支援をお願いいたします。また、学習等の相談につきまちは、三者面談等で、お気軽に話していただければと思います。



○ スクールカウンセラー(SC)への相談

専用電話にて直接SCに申し込みください。相談日以外の申し込みは学校に連絡ください。

相談日 11月5・12・19・26日 12月3・10・17日
相談時間 10:00~15:00 直通TEL 0475-46-3719

◇◇◇ 11月以降の予定 ◇◇◇

- 11 3年実力テスト
- 1年元気教室(小児生活習慣病対応)
- 1年袖風教室1
- 長南祭・合唱コンクール
- テスト前諸活動中止
- 3年音・保体・技家テスト 統合60周年航空写真撮影
- 後期中間テスト
- 2年社会人に学ぶ
- 特別支援教育振興大会(リモート参加)
- 専門委員会
- 3年進路面談(~30)



- 12 3年実力テスト
- 1年袖風教室2
- 小中特別支援学級交流会(鴨川シーワールド)
- 3年エイズ予防教室
- 1・2年三者面談(~17日)
- 大掃除
- 統合60周年記念式典
- 学年集会
- 冬季休業(~1月6日)



※各行事については、状況により変更・中止となります。
※月曜日：一部活動日
※朝及び土日祝の部活動は、各部顧問にご確認ください。
※部活動下校時刻 11月2日~16:30 1月7日~16:45